

時間学公開学術シンポジウム 2016

# 紛争後社会

# の再生と記憶

苛烈な紛争を経験した社会では「あの紛争で一体何が起こったのか」についての証言を膨大な量で収集・記録するプロジェクトが、様々な主体によって様々な様式でしばしば繰り返されてきた。紛争の記憶を現在・未来に向けて蓄積し開示しようとするこの動きは、紛争後の混沌におかれた社会や個人が秩序と日常を取り戻す上でどのような正負の意義や作用を含んでいるのか。近年の南アフリカなどで見られる特徴的な取り組みから考察する。

■日時

2016.6.11 SAT [開場 14:30]  
15:00  
17:00

■場所

## 京都工芸繊維大学

松ヶ崎キャンパス東部構内  
60周年記念館 記念ホール

■講師

大谷大学文学部 教授

### 阿部 利洋先生

博士(文学、京都大学)。  
著書:『紛争後社会と向き合う』(京都大学学術出版会)  
『真実委員会という選択』(岩波書店)など多数。

立命館大学産業社会学部 教授

### 福間 良明先生

博士(人間・環境学、京都大学)。  
著書:『「戦跡」の戦後史』(岩波書店)  
『「戦争体験」の戦後史』(中央公論新社)など多数。

先着180名

申込み不要

参加費無料



■主催/山口大学時間学研究所  
<http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp>  
■共催/日本時間学会  
<http://timestudies.net>  
■後援/京都市教育委員会

お問合せ

山口大学 時間学研究所  
TEL 083-933-5848  
E-mail [jikann@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:jikann@yamaguchi-u.ac.jp)

